

住宅地盤の補強工法設計例 正誤表

頁	項目	誤	正
12	上から5行目	ベタ基礎 (外周部根入れ 250 mm)	ベタ基礎 (外周部根入れ 300 mm)
14	上から15行目	= 33.60 kN/m ² (図2.1.13)	= 31.36 kN/m ² (図2.1.13)
	下から1行目	ϕ : 下部地盤の内部摩擦力 (°)	ϕ : 下部地盤の内部摩擦 角 (°)
16	上から17行目	q_e : 下部地盤の許容支持力度 165.58 kN/m ²	q_e : 下部地盤の許容支持力度 156.57 kN/m ² (基礎幅で計算する)
	上から18行目	+165.58 = 177.71	+ 156.57 = 168.70
20	上から1行目	$q_e = \dots 1.0 \times 0.50 \times 18.0 \times 0.45$	$q_e = \dots 1.0 \times 0.50 \times 18.0 \times 0.60$
	上から2行目, 4行目, 図2.1.18	62.68 kN/m ²	65.74 kN/m ²
	上から4行目	$q' = 39.04$ kN/m ²	$q' = 52.50$ kN/m ²
	上から18行目		追加 : 62.68 kN/m ² (基礎幅で計算する)
29	上から5行目	(kN・m ²)	(kN/m ²)
	上から23行目	$\frac{1}{2} \times 32.29 = 19.65$ kN・m ²	$\frac{1}{2} \times 39.29 = 19.65$ kN/m ²
	上から24行目	42.06 kN・m ²	39.29 kN/m ²
30	上から21行目	$a_p = \frac{n}{A_f}$	$a_p = \frac{A_p}{A_f}$
	上から21行目	A_f : 改良体1本当たりの基礎負担面積	A_f : 改良体1本当たりの基礎負担面積 $A_f = \frac{A_e}{n} = \frac{39.75}{21} = 1.89$ m ²
42	下から2行目	鋼管1本あたりの負担荷重 32.71 kN	鋼管1本あたりの負担荷重 31.48 kN
	下から1行目	$\therefore 34.80$ kN \geq 32.71 kN	$\therefore 34.80$ kN \geq 31.48 kN
50	上から14行目	$\therefore Ra1 = \frac{217.84}{1.5} \times 1476.8 \times \frac{1}{1000}$	$\therefore Ra1 = \frac{301.27}{1.5} \times 1476.8 \times \frac{1}{1000}$